

# 想いを未来に残す相続 — 遺贈寄付という選択

遺贈寄付は、遺言や保険（信託等を含む）を通じて資産の一部を公益団体等へ託す仕組みです。終活の“新しい切り口”として近年注目されています。遺言を残すことで、相続は単なる分配から「想いを託す贈り物」へと変わります。老老相続や単身世帯の増加、資産の滞留といった社会課題を背景に、遺贈寄付は資産を社会に循環させる手段として件数・金額ともに伸びています。一方で、関心はあっても方法や相談先が分からないという声は多く、相続を扱う方々が「最後のお金の使い方」に寄り添い、本人の想いを地域や未来の社会に活きる形へ橋渡しすることが益々重要になっています。

日時  
2026. **4.28** 火 18:00~20:00

会場  
アットビジネスセンター PREMIUM 新大阪 9階 903号室  
(アクセス別紙)

参加方法  
・会場セミナー参加（会場定員数：**36**名）  
・録画セミナー参加（後日配信となります）

聴講料  
会員：**2,000円(税込)** 一般：**3,000円(税込)**  
セミナー後の懇親会 会費：**6,000円(税込)**  
※ 場所は、決まり次第ご連絡いたします。

申込み  
左記QRコードから申込サイトにアクセスして  
お申し込みいただき、聴講料をご送金ください。  
(または下記に記入し、FAX：06-7635-8707へ送付)



後日配信（アーカイブ）資料及びセミナーURLは、  
2026年5月10日までにメールでお送りします。

聴講料の送金先 三井住友銀行 大阪本店営業部 普通：**8183858**  
ミヤケシキ（日本相続学会 関西ブロック長）

※ 会場参加の方も **4月22日(水)**までに聴講料をご送金ください。

登壇者  
**三浦美樹氏**



2011年に司法書士事務所を開業、相続専門の司法書士として、これまでに2,000件を超える相談を受け、多数の相続専門誌を監修・執筆している。2019年に日本承継寄付協会を設立。遺贈寄付の全国実態調査や、遺贈寄付ガイドブック「えんギフト」を発行。英国発の遺言書作成報酬助成であるフリーウィルズキャンペーンの日本初開催をし、日本における遺贈寄付文化創造に尽力。日本最大規模のカンファレンス「ICCサミット FUKUOKA 2024」にて、社会課題の解決に挑む起業家のピッチイベント「ソーシャルグッド・カタパルト」にて優勝。Forbes JAPAN 2024年6月号の特集「100通りの世界を救う希望 NEXT100」の表紙にも起用される。主な著書に『相続に係る専門家のための遺贈寄付実務』（税務経理出版）、監修に『家族が亡くなった後の手続きガイド 新装改訂版（2021）』（宝島社）などがある。

お問い合わせ 三宅伸税理士事務所 電話：06-6479-1818 / E-mail：miyake@miyake-tax.jp

FAXのお申し込みはこちらから 申込締切 2026年4月22日（水）まで

お名前			会社名または職業	
連絡先	〒 TEL.			
メールアドレス				
参加区分	<input type="checkbox"/> 会員	<input type="checkbox"/> 一般	参加方法	<input type="checkbox"/> 現地参加 <input type="checkbox"/> 懇親会参加 <input type="checkbox"/> 録画配信

FAX 06-7635-8707へ送付



「円満かつ円滑に」  
一般社団法人日本相続学会®  
The Japanese Inheritance Association

主催者：一般社団法人日本相続学会  
〒101-0021 東京都千代田区外神田6-9-6 平川会計パートナーズ内  
Email: renraku@souzoku-gakkai.jp URL: https://souzoku-gakkai.jp/